

病床機能転換概要報告書

- 1 病院名：社会医療法人熊谷総合病院
- 2 所在地：埼玉県熊谷市中西4丁目5番1号
- 3 病床機能転換概要

転換前 病床機能区分	転換病床数	転換年月日
	急性期	
回復期	10床	令和3年6月1日 (予定)

4 提供する医療の内容

【転換前】 一般病床 201床 (HCU含む) として急性期医療を提供 回復期リハ病床 (57床)、地域包括ケア病床 (52床) として回復期医療を提供
【転換後】 一般病床 211床 (HCU含む) として急性期医療を提供 回復期リハ病床 (57床)、地域包括ケア病床 (42床) として回復期医療を提供予定

※6F病棟の一部 (9床) をコロナ患者対応病床として利用

○病床機能転換の経緯、地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能
 現在、当院では新型コロナウイルス患者対応のため、一般病床の一部を閉鎖しております。そのため、病室が不足し救急受入に苦慮しており、一般病床を確保しておきたい事などから病床機能転換を考えております。

なお、新型コロナウイルス終息後においても、地域の中核病院として地域医療に貢献していくため、さらなる時間外等の救急受入を積極的に行ってまいります。

○新たに担う役割

救急医療、急性期医療を主軸とし、かつ当該医療圏で不足している回復期の機能も充実させ地域医療ニーズに沿ってシームレスな医療提供を埼玉県北部地域にて持続的に提供してまいります。

○将来の方向性

当面は、転換後の体制である一般急性期 201 床、HCU10 床、回復期リハ 57 床、地域包括ケア 42 床を維持していきたいと考えております。

5 転換後の見込

届出予定基本診療科施設基準 地域包括ケア病棟入院基本料 2 (10 床減)	算定開始年月日 令和 3 年 6 月
患者の受け入れ見込み	
<p>【転換前】</p> <p>自院 (救急含む) からの入院 年間 963 人 (96%)</p> <p>他病院からの紹介入院 年間 30 人 (3%)</p> <p>診療所からの紹介入院 年間 0 人 (0%)</p> <p>施設から入院 年間 10 人 (1%)</p> <p>年間救急搬入患者数 年間 2,902 人 年間救急搬入応需率 2019 年度: 86.3% 2020 年度: 88.3%</p>	<p>【転換後】</p> <p>自院 (救急含む) からの入院 年間 800 人 (96%)</p> <p>他病院からの紹介入院 年間 25 人 (3%)</p> <p>診療所からの紹介入院 年間 0 人 (0%)</p> <p>施設から入院 年間 8 人 (1%)</p> <p>年間救急搬入患者数 年間 3,300 人</p>
医療 (介護) 連携見込み	
<p>【転換前】</p> <p>○主な紹介元: 埼玉県立循環器・呼吸器病センター、埼玉医科大学国際医療センター、熊谷外科病院、埼玉慈恵病院、関東脳神経外科病院、熊谷生協病院、熊谷福島病院、藤間病院、行田総合病院、群馬県立がんセンター 他</p> <p>○主な紹介先: 埼玉県立循環器・呼吸器病センター、埼玉医科大学国際医療センター、熊谷外科病院、埼玉慈恵病院、関東脳神経外科病院、熊谷生協病院、熊谷福島病院、藤間病院、行田総合病院、群馬県立がんセンター 他</p>	<p>【転換後】</p> <p>○主な紹介元: 埼玉県立循環器・呼吸器病センター、埼玉医科大学国際医療センター、熊谷外科病院、埼玉慈恵病院、関東脳神経外科病院、熊谷生協病院、熊谷福島病院、藤間病院、行田総合病院、群馬県立がんセンター 他</p> <p>○主な紹介先: 埼玉県立循環器・呼吸器病センター、埼玉医科大学国際医療センター、熊谷外科病院、埼玉慈恵病院、関東脳神経外科病院、熊谷生協病院、熊谷福島病院、藤間病院、行田総合病院、群馬県立がんセンター 他</p>

6 医療従事者

(令和3年4月1日現在)

職種	転換前の人員(人)			転換後の予定人員(人)		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	54	249	20	54	249	20
看護師	221	37	26.7	221	37	26.7
准看護師	16	19	14.5	16	19	14.5
看護補助者	18	14	11	18	14	11
理学療法士	59			59		
作業療法士	22	1	0.6	22	1	0.6
視能訓練士	2			2		
心理士	2			2		
診療放射線技師	22			22		
臨床検査技師	21	3	2.3	21	3	2.3
臨床工学技士	8			8		
管理栄養士	6			6		
薬剤師	20			20		
事務	55	6	5.8	55	6	5.8
その他	24	2	1.2	24	2	1.2
計	550	331	82.1	550	331	82.1

確保状況・確保策、確保スケジュール

(※変動が生じる予定の人員について、確保策等を具体的に記載してください。)
 今回の病棟転換において、人員は充足しており、転換する病棟においても看護基準はクリアしているため、現時点での増員は考えておりません。

7 主な病院内施設・設備

転換前	転換後
<u>急性期一般入院基本料 1 (191 床)</u>	<u>急性期一般入院基本料 1 (201 床)</u>
病室 4 床室 39 室	病室 4 床室 42 室
病室 2 床室 2 室	病室 2 床室 3 室
病室 1 床室 31 室	病室 1 床室 27 室
HCU (10 床)	HCU (10 床)
<u>回復期リハ病棟入院料 1 (57 床)</u>	<u>回復期リハ病棟入院料 1 (57 床)</u>
病室 4 床室 13 室	病室 4 床室 13 室
病室 2 床室 1 室	病室 2 床室 1 室
病室 1 床室 3 室	病室 1 床室 3 室
<u>地域包括ケア病棟入院料 2 (52 床)</u>	<u>地域包括ケア病棟入院料 2 (42 床)</u>
病室 4 床室 11 室	病室 4 床室 8 室
病室 2 床室 1 室	病室 2 床室 0 室
病室 1 床室 6 室	病室 1 床室 10 室
診察・処置室 35 室	診察・処置室 35 室
手術室 7 室	手術室 7 室
リハビリテーション室 1 室	リハビリテーション室 1 室
スタッフステーション 7 室	スタッフステーション 7 室
浴室・シャワー室 3 室	浴室・シャワー室 3 室
食堂談話室・デイルーム 7 室	食堂談話室・デイルーム 7 室

(※増減が生じる施設・設備は、アンダーライン等わかるよう記載してください。)

8 医療（介護）連携における課題・問題点

後方施設のエリア拡大及び紹介・逆紹介等により近隣医療機関との連携強化を図り、地域医療に貢献したいと考えております。

社会医療法人熊谷総合病院 病棟機能再編【6/1～】

(単位：床)				
再編前			再編後	
本/新 F	病棟機能	病床数	病棟機能	病床数
本館 7	急性期 (一般病床)	52	急性期 (一般病床)	52
本館 6	急性期 (一般病床)	55	急性期 (一般病床)	55
本館 5	回復期 (地域包括ケア病床)	52	急性期 (一般病床)	52
本館 4	回復期	57	回復期	57
本館 2	HCU	10	HCU	10
新館 4	急性期 (一般病床)	42	回復期 (地域包括ケア病床)	42
新館 3	急性期 (一般病床)	42	急性期 (一般病床)	42
	総数	310	総数	310
※6F病棟の一部(9床)をコロナ患者対応病床として利用				